



旅行が好きで訪れた国のスタンプを集めている旅行者には不評だが、煩わしい手続きなくヨーロッパ旅行ができるのは魅力的だ。

ヨーロッパに難民が押し寄せた時、難民の移動取材したが、セルビア以外はパスポートを出すことなく、クロアチアからスロベニア、オーストリア、チェコと移動したが、車移動だったのでいつ国境を渡ったのか全くわからなかった。

参考動画：「難民解説付き」ヨーロッパに押し寄せた難民
クロアチア～セルビア～オーストリア

https://youtu.be/5zZkgyo_U



ジャーナリスト人生の原点 アフガニスタン

僕のジャーナリスト人生の原点とも言えるアフガニスタン。手前がパキスタンで奥がアフガニスタン。この写真でTRR初のポストカード制作を進めているので、次回講演時には参加賞としてポストカードをプレゼントできると思います。

治安が悪くなり国境が閉鎖されたりして、もしかすると外国人は未来永劫通れないかもしれない国境。このパキスタンとアフガニスタンの国境も歴史的にはイギリスが無理やり引いた国境線。しかも、国境線は何度も移動している。国境って何だろう？

次回、国境って何だろう？Part2で詳しく解説します。（久保田弘信）

国境って何だろう？Part 1

島国で海に囲まれ、陸続きの国境を持たない日本。国境や隣の国に対する感覚が薄いと思う。

国によっては県を跨ぐようになるのチェックもなくお隣の国に行くことができる。日本人に最も馴染みが深いのはヨーロッパだと思う。ヨーロッパではシェンゲン協定があり加盟する国々は入国審査なしで自由に移動することができる。

日本人がヨーロッパ旅行へ行くと最初に入国した国のスタンプは押されるが、シェンゲン圏内であればパスポートを出すことなく自由に国家間を移動することができる。



国境が曖昧な地域はたくさん！

ヨーロッパに限らず国境が曖昧な地域は沢山ある。バングラデシュを訪れた時、インド国境に近いフェニという街に行った。観光が注目されていないバングラデシュを訪れる日本人は少なく、フェニという何もない街に行ったことがある日本人は殆どいないと思う。

バングラデシュに住む友人の案内で国境近くへ行ってみた。僕の傍にある小さな石が国境の目印。国境は田んぼの真ん中であって、小さな石以外は何の国境線もない。僕の後ろには車が走れる道があって、そこはもうインド。近くにいくつか監視小屋があるが、監視の人はいなかった。地元、バングラデシュとインドの人は、田んぼを歩いてお隣の国と行き来している。厳密にいうと僕もバングラデシュからインドへ何のチェックもなく入らせてしまっている。

8月31日：福岡県福岡市 テーマ：戦争と難民

【参加者の声】

笑顔で食事をとった後にすぐに前線に出ていく兵士、映像にうつりたがる難民の方々を見て、生と死の近さにゾクッと感じました。（福岡市：H.Y様）

情報リテラシーの低さは、日頃感じるところである。特に昨今は偏りを感じる。私自身の友人・知人の投稿を見ても、、、フェイクニュースの増加も非常に危ない、怖いくらいだ。難民キャンプの子供にも笑顔があるのは以外でもあった。これもやはりステレオタイプの報道によって「作り出された」イメージなのかもしれない。同時にこの子らの笑顔が争いのない地域、時代を築いてくれたらとも。（福岡市：M.Hさま）



出来れば見たくない、怖い、目をそむけたくなる世界。関わらないでいようと思えば、関わらないで生活を送れるかもしれない世界。何が怖いのか、今の自分の価値観が崩される？ただでさえ余裕のない自分の目の前のことに加え、世界的な問題点を知ること、、、もっと知らないといけない。見てみぬふりをせずに、まずは知らないといけないと感じました。（福岡市：Y.Y様）

爆撃でなくなる人より難民キャンプの環境の劣悪さで亡くなる人の方が多いということを知りました。最近、特に私もメディアリテラシーを高める教育を受けてこなかったことに危機感を感じていましたので、とても興味深い内容でした。（福岡市：M.M様）



【参加者の声】

最前線の映像や難民キャンプでの子供たちの映像を見て、とても胸が苦しくなった。日本人として世界に向けて、もっと発信できることや出来ることがあるのではないかと考えさせられた。（福岡市：K.Y様）

講演会情報

2024年9月21日（土）

【講演会】14:00～15:30

【質疑応答&交流会】15:30～16:45

【定員】40名

【場所】PlanT 日野市多摩平の森産業連携センター
東京都日野市多摩平2-5-1

2024年10月20日（日）

【講演会】14:00～15:30

【質疑応答&交流会】15:30～16:45

【定員】40名

【場所】マロウドイン八王子
東京都八王子市三崎町6-11

編集後記

台風の影響でヒヤヒヤ！

8月31日の福岡公演の開催は、本当にヒヤヒヤでした。「のろのろ台風！」。結果的に、私は2日前の29日午前中の新幹線で移動し、無事に福岡入り。ところが、到着の2時間後には、広島一博多間が運航中止。一方、久保田の方は当初予定していたフライトが欠航になったため、天気図にとらめっこしながら、前日の30日の夕方の便に変更。30日の羽田ー福岡便のフライトの8割近くが欠航



の中、奇跡的に夕方の数便だけが予定通りに。運に助けられた福岡公演でしたが、台風時期の講演会企画を考えさせられる教訓となりました。福岡の皆様、ご参加ありがとうございました。

The Real Report 坂田兼一